



To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2012年3月No.358

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2011~2012)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『TEAM - 共にさらなる目標を目指そう!』 東京セントラルクラブ会長 : 『ひとつとなつてYMCAへ』 国際会長 : 『とにかくやろう-成せば成る』 アジア地域会長 : 『信念をもって使命を果たそう』 西日本区理事 : 『飛翔たとう ワイズスプリットを胸に』 中西部部長 : 『であいで愛』	会 長 : 谷川 寛 副会長 : 岡本 剛介 書 記 : 石津 雅人 会 計 : 藤原 正巳 メネット会長 : 谷川 有美子 Y連絡職員 : 鍛治田 千文

Biblical Message of March

主よ。あなたはわたしを探り、わたしを知りつくされました。
 あなたはわがすわるをも、立つをも知り、遠くからわが思いをわ
 きまえられます。

(詩篇 139:1-2 節)

March Club Meeting

『EF/JWF』

3月第1例会

日時：2012年3月21日(水) 18:45~20:45

場所：ホテルグランヴィア大阪 21階

司会：藤原 正巳 君

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1.開会 | 谷川 寛 会長 |
| 2.ワイズソング | — 同 |
| 3.聖句朗読 | 石津 雅人 君 |
| 4.ゲスト紹介 | 谷川 寛 会長 |
| 5.今月の強調活動 | 石津 雅人 君 |
| 6.晚餐 | — 同 |
| 7.卓話「日本人とイタリア人」 | 大阪大学 ジュゼッペ・フィーノ教授 |
| 8.連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 9.誕生祝い・ニコニコ献金 | — 同 |
| 10.閉会点鐘 | 谷川 寛 会長 |

3月第2例会

日時：2012年3月28日(水) 18:30~20:30

場所：土佐堀YMCA会館 4階

お誕生日 谷川メネット、松浦メン、中村_茂メネット

例会担当

2班：坂本、藤原、中村_茂、福永、鍛治田、中村_隆、芝田の各メン

YMCA の役割、なすべきこと

鍛治田 千文

先日、サポートクラス(発達障害児)15周年記念シンポジウムがあり、あらためてYMCAの役割やするべきことについて考える機会がありました。聖書(ルカによる福音書の14章12節)には「神の国の宴会に人を呼ぶ時は貧しい人、心や身体の不自由な人を招きなさい」と書いています。キリスト教を礎とするYMCAでは、活動の中でそれを具体的な形で実践をしています。ただ実践する時に、忘れてはならないのは、「人は人の中で育つ」専門家だけでは解決できない」ということです。「人は人の中で育つ」ということでは、大阪YMCAは130年の間、人に関わる様々な事業を行っています。その歴史と文化を持った大阪YMCAが、専門家としての力量と、子ども達から年配の方々、外国の方々との関わり、またキャンプ等での関わりという力量を活かして特別支援教育(サポートクラス)に関わるということが、大切でまた意義あることだと信じています。

また、「専門家だけでは解決できない」というのは、医療の世界でも、専門化が進んでいます。例えば、心臓の臓器しかみない弊害が言われています。その病んだ臓器を持つその人の体全部いや身体だけでなく、心も、もしかすると生活の仕方や生き立ち等をみないとその人を診たことにはなりません。Yにも臨床心理士、言語聴覚士、特別支援教育士などたくさんの専門家もいます。でも専門分野だけではなく、その人全部や家族やその人が歩んできた歴史をもあわせみてその人に寄り添いたいと考えています。

次回は大畑慎治さんです。

【クラブ統計 Statistics】

12年2月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ/じゃら献金
在籍会員 23名	メ ン	17名	10名	2月 3g	2月: 19,779円
例会出席 17名	メネット	6名	0名	現 金 0円	
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	累 計	累 計: 107,393円
0名	ゲ ス ト	3名	0名	切 手 717g	
出席率 73.9%	合 計	26名	10名	現 金 0円	

2 月第 2 例会

と き：2月22日（水）18：00～20：30
ところ：大阪YMCA土佐堀会館 406 号
出席者：石津、井上、大村、谷川、中村^茂、藤原、
松浦、三浦、山田、山中の各メン

協議内容

1. 30周年事業の検討
2. 落語会の報告
3. 4、5月例会のスピーカー検討
4. 3月支払いの「YMCA協力会費」の件、承認。
5. 各クラブの周年行事の参加の件、高槻、京都パレス
6. 新年度クラブ役員リスト最終報告、承認。
7. 内規に「休眠会員制度を設けること」承認。
8. 30周年行事に青年会員候補、会費半額で招待案検討。

Y M C A ニュース

指導者感謝会

日程：3月17日(土)
場所：六甲山YMCA
ユース・リーダーの奉仕への感謝の会です。

News

・2月の土佐堀YMCA委員研修で、土佐堀YMCAの事業方針が決まりました。「YMCAは次世代への発信基地。共に生きる社会のために、様々な情報手段を用いて、人・地域・社会をつなぎ、SQ(Social Quotient・関わり指数)を高めます。」

・3月5日、表コミ32名が卒業します。今年初めて関西学院大学に合格した生徒がいます。中学時代不登校、表コミ1・2年生も欠席が多く、進級があやうい生徒でした。3年から人が変わったようにきちんと登校し、皆勤。毎日遅くまで残って勉強をしていました。

(鍛治田 千文)



桐山泰典さん

今年の2月に、さいたま市のアパートで、60代の夫婦と30代の息子とみられる男女3人の遺体が見つかった事件がありました。人間にとって、最も大きな苦しみは、自分は誰にも知られていないという孤独だと言われています。

逆に、自分を知っている人がいるということで安心感を持つことが出来ます。理解してくれる人がいることや受け入れてくれる人がいることに感謝したいものです。

聖句選/コメント：石津 雅人

(今回は、福永嘉彦さんです)

2 月第 1 例会

と き：2月15日（水）18:45～20:30
ところ：大阪YMCA会館4階403号室

Time of Fast 月間の2月例会は、食事を抜き、飢餓に苦しむ人のことを思い、食事分を献金する例会。メインスピーカーの口火を切ったのは大阪YMCA土佐堀館長の神田尚人さんで、テーマは新しく公益財団を取得した大阪YMCAのこれから。新しいVISION2020と称し「人が中心となるネットワーク型福祉社会を実現する活動を展開、チェンジメーカーとなる青年をはぐくむ」ことを宣言し、新しくソーシャルネットワーク推進室を設置、中期2カ年計画を進めるとのこと。

二番手は、表現コミュニケーション学科の1年生を指導するスタッフの桐山泰典さん。本格的な落語で、辻斬りに逢い、上半身と下半身に切られた男の話をおもしろおかしく体全体で演じてくれました。

三番手の日本語学科の川本かおるさんは、「ブランディング」と題し、YMCAのブランドとは何か？それをどう人に伝えていくのかを、整然と私たちに語ってくれました。いつものホテルの雰囲気とは違い、ケーキやお茶だけの手づくりのぬくもり感のある例会でした。



川本かおるさん



神田尚人さん

「香港！HongKong！ホンコン！」

井上 文輔

2月9～13日、香港へ行ってまいりました。今回の目的は、IBCである Bauhinia クラブのメンバーとの交流、そして香港リージョン新年会に出席することでした。香港は二度目の訪問で、一度目は2000年の国際大会とユースコンボケイションの出席を兼ねて1カ月滞在をしていました。香港は一番好きな街の一つで、活気と熱気のある面白い街です。

初日は、Bauhinia クラブを含む香港3クラブ合同例会に出席。スピーカーは谷川会長。東日本の震災と原発に関するお話を頂きました。例会ではメンバーとも交流ができ、有意義な時間を過ごせました。2日目は、道教の寺院を中心に、香港島や尖沙咀をブラブラしたり、ペニンシュラホテルのロビーでお茶したり、ビル30階から香港を眺めながら飲茶し



熱弁をふるう谷川寛会長



筆者・井上文輔メン



活気あふれる街の様子

2月BF報告

中村 隆 (3g)

合計 3g

CS報告

現金 27,500円 切手 2,045円

たりと、前回とは異なる香港を体験しました。また夕食は、ユース時代の友人二人とデート。大衆食堂、屋台に連れて行ってくれました。3日目もほとんど独りで旺角を中心に観光。夕方からは香港リージョン新年会に参加しました。およそ150名のメンバーが集まり、香港の旧正月を祝っていました。そこでも Bauhinia クラブを中心に様々な方と知り合えた素晴らしい会でした。さらには香港のユースクラブのメンバーとも知り合うことができ、何か後輩に会うような懐かしい感触でした。この4日間は密度の濃い、そして新しい友人、懐かしい友人と出会う最高の旅行となりました。

Club Activities (February ,2012)

On February 15, the venue was changed to a classroom of the Osaka Y for the February meeting. A total of 28 Y's men, Y's menettes, and guests gathered.

It was a lively meeting with many guests attending from the Osaka Y, though no meals were served for this month's emphasis on the "Time of Fast" program.

President KAN TANIKAWA outlined its objective of skipping meal in an effort to serve for the Time of Fast project.

The highlights of the February meeting were the speeches and "Rakugo" (traditional comic story telling) performance made respectively by three Osaka Y staff members:

Mr. NAOTO KANDA, director of the Osaka Y Tosabori branch talked about the Osaka YMCA's new mission, vision and two-year plan. The Osaka Y is to celebrate its 130th anniversary of its founding this year.

Miss KAORU KAWAMOTO, a staff of the Task V team of the Osaka Y covered Mr. KANDA's speech in details.

With these very informative presentations, we strongly feel we should share the same concern for challenges the Osaka Y faces in the years to come.

Between these two speeches, Mr. YASUSUKE KIRIYAMA, an English teacher at the Community & Presentation Department of the Osaka Y High School performed "Rakugo" in a really professional manner.

Club treasurer SAM FUJIWARA made an interim report on the club's balance sheet as at the end of December, 2011. Yen 20,779 was collected at the meeting for the club's niko niko (smiling fund), together with the sheets of the commemorative New Year stamps collected.

Y's menettes were successful in raising Yen 5,000, in selling a variety of goodies, including the honey moon souvenirs brought by Mr. & Mrs. SHINJI & MIYAKO OHATA. Thank you for kind support given by all.



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

会員、ゲストからのメッセージ

今日はお招きいただき、「大阪YMCAのこれから」について川本と共に語る機会をお与え下さり、有難うございました。大阪Yもワイズも時代の転換点の中で一緒にブランディングを考えることができればと思います。(神田 尚人)

今日は貴重なお時間を頂き有難うございました。お話させて頂きました内容をきちんと実現できるように頑張らまいます。今後もよろしくお願ひ申し上げます。(川本 かおる) YMCAのことについてよく理解することのできた例会でした。また落語もあって良かったです。(石津 雅人)

先日、香港でのボヒニアクラブを含む3クラブの合同例会に出席しました。その翌々は香港Y sの新年会(出席150名超)にも出席させて頂きました。懐かしい顔にも再会し、また新たな出会いもあり、楽しい時を過ごせました。

(井上 文輔)

ドバイとモーリシャスで、世界における日本車の力と華僑ネットワークを持つ中国人のパワーを感じてきました。飛行機は残念ながらエコノミーでした。

(大畑 慎治)

1月末に新婚旅行に行ってきました。行き先は常夏のインド洋、モーリシャス島です。日本に戻ってくると実家のある日本海側が大雪で、心配しました。近年の異常気象が気になります。

(大畑 都子)

大阪YMCAのこと、落語と楽しいひと時でした。

(岡本 剛介)

初めての落語楽しかったです。

(岡本 麗香)

表コミ1年生のクラスルームで例会。皆さんにお運び頂き、YMCAの仲間のお話を聞いて頂けること、大変嬉しく思います。

(鍛冶田 千文)

TOFの日、みんなで堂島ロールを食べて、TOFの意味を考えるよい機会です。でも、本当は何にも食べてはいけな

んだよね~!

(坂本 千春)

インフルエンザが流行しています。睡眠をとり、栄養のある

バランスの良い食事が大切です。

(坂本 哲朗)

まずワイズ読本を熟読しようと心に決めて実行中です。YMCAサービス委員の使命を感じております。よろしくお願ひ

致します。

(芝田 光雄)

YMCAが転換期にあるとのお話でしたが、それには 寄付の行き先の明示(できるだけ) 平和に向けて戦争反対、原発反対などのアピールなどにも取り組んでほしいと思

います。

(新保 正秋)

大阪YMCAの取組み、目的などが把握できてよかったです。

(高橋 裕也)

2月例会、場所を大阪YMCAに移して楽しい例会でした。

(谷川 寛)

久しぶりの出席ですが、この「Time of Fast」の活動月間に

来ることができてよかったです。実際に断食して、皆様と共に世界で飢餓に苦しむ人々のことに思いを馳せることができた

からです。

(谷川 有美子)

「大阪市」もいい方向に向いてくれたらよいのですが。

(中村 幸枝)

上月英子先輩から、今年も多くのお年玉切手や使用済切手を送って下さいました。いつまでも覚えて頂き、本当に感謝しています。やはりYMCA土佐堀での例会は感ひとしおです。

(福永 義彦・滋子)



TOFの月。いつものディナーに代ってケーキ、チョコレート、及びクッキーで楽しいティータイムを持ちました。プログラムも神田館長の「新しいYMCAのあり方」、川本さんの「ブランディング」、及び表コミ桐山先生の「落語」と大変盛り沢

山で、楽しみを通して大阪Yの姿がよく見えてきました。この素晴らしい企画を立案・実行頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

(藤原 正巳)

いつもと違う会場とスタイルでの例会。大阪YMCAについて深く学ぶ、なかなか実のある例会でした。

(松浦 孝次)

今日は2月例会TOFということで断食の日です。寝て一畳、起きて半畳、つつましくかつ、エコノミックな生活が理想の生活と思います。YMCAの活動にこれからもできるだけか

かわっていきたいと思います。

(三浦 直之)

久しぶりに土佐堀YMCAで「第1例会」を持つことができました。いつものホテルサービスから離れて、メンバーみんなの手で会場設営やプログラムの進行がスムーズに行われるのを見て、また、出席メンバーが小さな教室で顔を合わせ、膝を突き合わせて会ができるのもまた楽しいものだなと思

いました。

(山田 孝彦)

大阪センテニアル30周年記念会、日野原重明さんから激励の色紙を頂き、11月18日に向けて本格的に始動しました。

皆さんからの提案と実践をお願いします。

(山中 秀男)

十分に食事のできない方々に思いを込めて!

(山中 ちあき)



(桂吉弥師匠を囲んで)

後 記

すっかりお馴染みになった「センテニアル寄席」。桂吉弥さんが、2月18日、素晴らしい話芸をまた私たちに披露してくれました。

入門すると、「前座」になり、身分も噺家ではなく、365日拘束されて自由はない。師匠の身の回りの世話から寄席の楽屋回りの雑用などをこなし、数年を経て「二つ目」として噺家の末席に名を連ね、さらに10年晴れて「真打ち」というのが一般的と聞きます。

年を経るごとに貫録と旨味を増していく吉弥さんを、これからも我がクラブとして、応援していきたいものです。

(中村 茂高)